

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により
使用すること

貯 法：室温保存

使用期限：3年

(外箱等に表示の使用期限内に使用
すること)

注 意：「取扱い上の注意」の項参照

電解質補給輸液剤

ニソリ[®] 輸液

Nisori Injection

(乳酸リンゲル液)

日本標準商品分類番号
873319

承認番号	21900 AMX 01322
薬価収載	2007年12月
販売開始	1968年4月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

高乳酸血症の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

【組成・性状】

組成

容 量		500mL
成分・含量 (1瓶中)	日局 塩化ナトリウム	3.0 g
	日局 塩化カリウム	0.15g
	日局 塩化カルシウム水和物	0.1 g
	乳酸ナトリウム	1.55g

製剤の性状

性 状	無色又は微着色の液である。			
pH	6.5～7.5			
浸透圧比	0.5～1.4 (生理食塩液に対する比)			

電解質濃度 (mEq/L)				
Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	Lactate ⁻
130	4	3	109	28

【効能・効果】

循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正、代謝性アシドーシスの補正

【用法・用量】

通常成人、1回500～1000mLを点滴静注する。
投与速度は、通常成人1時間あたり300～500mL(1分間約80～130滴)とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1)腎不全のある患者〔水分、電解質の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕
- (2)心不全のある患者〔循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。〕
- (3)重篤な肝障害のある患者〔水分、電解質代謝異常が悪化するおそれがある。〕
- (4)高張性脱水症の患者〔本症では水分補給が必要であり、電解質を含む本剤の投与により症状が悪化するおそれがある。〕
- (5)閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者〔水分、電解質の過負荷となり、症状が悪化するおそれがある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

種類	頻度	頻度不明
過 敏 症	紅斑、荨麻疹、そう痒感	
大量・急速投与	肺水腫、脳浮腫、末梢の浮腫	

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

(1)調製時：

- 1) 本剤はカルシウム塩を含有するため、クエン酸加血液と混合すると凝血を起こすおそれがあるので注意すること。
- 2) リン酸イオン及び炭酸イオンと沈殿を生じるので、リン酸塩又は炭酸塩を含む製剤と配合しないこと。

(2)投与前：

- 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること。(患者の皮膚や器具消毒)
- 2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- 3) 開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

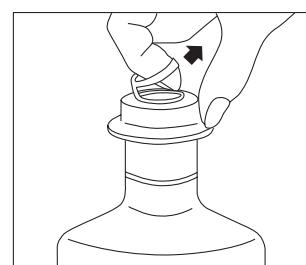
(3)投与時：ゆっくり静脈内に投与すること。(急速投与を必要とする場合を除く。)

【取扱い上の注意】

1. 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること。

2. 開栓時の注意：

- (1)プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持する。
- (2)プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかける。



(3)親指で支え、手前方向へ約45度にゆっくり引くと開栓できる。

3. 包装内に水滴が認められるものや内容液が着色又は混濁しているものは使用しないこと。
4. 混注の際は注射針をゴム栓の○印にまっすぐ刺すこと。

5. 容器の目盛はおよその目安として使用すること。
6. 安定性試験：加速試験（40℃、相対湿度75%、6ヵ月）
の結果、ニソリ輸液は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。¹⁾

【包 製】

500mL：20瓶（プラスチックボトル）

*プラスチックボトルはポリプロピレン製容器である。

【主 要 文 献】

- 1) 社内資料（安定性試験資料）

***【文献請求先】

「主要文献」に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号
フリーダイヤル 0120-419-043

® 登録商標

***製造販売元
マイランEPD合同会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

***販売元
ヴィアトリス製薬株式会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号